

## 平成 29 年度業務実績に関する評価書（事務局案）の補足説明資料

### I 平成 29 年度の業務実績評価について（1 ページ）

「公立大学法人長岡造形大学 業務実績評価（年度評価）実施要領」を記載。

### II 評価結果

#### 1 全体評価（2、3 ページ）

後述の「2 大項目別評価」及び「3 事業単位・指標単位評価」などを総合的に勘案し、「中期計画の進捗は順調である」と評価した。

#### 2 大項目別評価（4～12 ページ）

○A評価（中期計画の進捗は順調）

「教育」、「研究」、「地域貢献」、「国際交流」、「自己点検・評価及び情報公開」

○B評価（中期計画の進捗は概ね順調）

「業務運営」、「財務」、「その他業務」

○判断基準

平成 28 年度までの進捗状況に加え、平成 29 年度業務実績及び取り組み状況などを総合的に勘案し、中期目標期間 4 年目終了時点での進捗状況を評価した。

#### 3 事業単位・指標単位評価（13～39 ページ）

第 1 回評価委員会で、法人から示された「業務実績報告書」の右側に、事務局の評価とコメントを付した。

今回は法人の自己評価がいずれも適当と判断し、同様の評定を付している。

### その他

評価書に記載した主な項目は以下のとおりである。

#### ・ 3 ページの(3)平成 29 年度の特筆すべき取り組み

大学院研究室を一新したことや、アイデアを試作品として形にすることのできるプロトタイプینگルームを新設したことは、学生の自主的な制作活動を支援する特筆すべき取り組みであると記述した。

#### ・ 3 ページの(4)課題・改善すべき点に関する意見

抜本的な改革を行った大学院課程において、入学者数は増加したものの定員充足までには至らなかった。今後、特色ある取り組みが行われることを期待するとともに、積極的な情報発信などにより、大学院入学者の安定確保に努められたいと記述した。

人事評価制度の構築に向けて検討を開始しており、平成 30 年度から一部組織で試行開始が予定されている。中期目標期間内に制度を構築できるよう取り組みを進められたいと記述した。